

令和3年度「静岡県障害を理由とする差別を解消するための取組に関する知事褒賞」
受賞者・取組概要

(敬称略・五十音順)

連番	受賞者名	取組概要	備考
1	大石 裕香	当事者家族の視点からヘルプマークの普及活動を実施 企業、学校等でヘルプマークに関する講演会を実施する等積極的に周知する活動に取り組んでいる。	
2	さくらの架け橋会	障害のある人のためのトイレサイン（ピクトサイン）の設置活動 障害のある人とない人が一緒に楽しむことができるタンデム自転車の普及にも取り組んでいる。	事例発表
3	静岡県障害者就労研究会	知的障害のある人の生涯学習の場「大学で遊ぼう」開催 知的障害のある人と現役大学生がお互いに支えあうことをコンセプトに、一緒に学ぶ場を開催する等障害のある人の交流活動に取り組んでいる。	
4	静岡市清水手をつなぐ 育成会キャラバン隊	ロールプレイを中心に体験型の講演を実施 外形的に分かりにくい知的障害や発達障害に対する理解の促進のために小中学生等に対し、体験型の講演活動に取り組んでいる。	
5	静岡民放クラブ	視覚障害のある人のために、音訳CDを作成し、県内の複数の団体、施設に配布。 中学生にむけて、障害のある人への配慮の仕方等について講演活動にも取り組んでいる。	
6	静清信用金庫	障害のある人たちを音楽コンサート等イベントへ招待 積極的に社会参加作りの貢献活動に取り組んでいる。	
7	中遠地域精神保健福祉会 丹誠会	一般県民向けへの講演会の開催 当事者や、その家族の視点から、精神障害に対する理解促進を広める講演活動に取り組んでいる。	
8	はごろもフーズ株式会社	長年にわたって、障害福祉事業所の製品を購入し、株主優待品として活用 福産品を広め、障害のある人を応援する活動に取り組んでいる。	事例発表
9	文化シャッターサービス 株式会社	障害福祉事業所の製品を購入し、お客様に渡すノベルティとして活用 福産品を広め、障害のある人を応援する活動に取り組んでいる。	
10	松井 照子	野菜を題材にし、障害に対する理解を深める絵本等を作成し、図書館へ寄贈 知的障害のある息子が地域に溶け込める環境を啓発できないかという思いから絵本を製作し、学校等での講演活動や息子久悦さんの個展を開催している。	